



K120.73

37

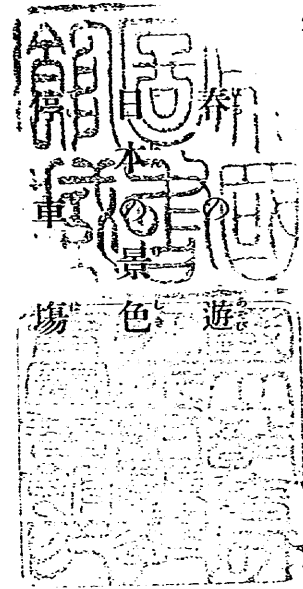
3

東京元々堂書房發行

緒言

一本書ハ文部省著作尋常小學讀本中ニアル韻文ニ曲譜ヲ附セ
 ルモノナリ
 一本書ノ曲譜ハ學校教科用及ヒ家庭用ニ適應セシメンカタメ
 斯道ニ多年經驗アリ令聞アル東京音樂學校教官内田象太郎
 全楠姜慰三郎全岡野貞一ノ三先生ニ依囑シテ成リシモノナ
 リ
 一本書ノ歌詞歌曲ノ調和ニツキテハ三先生ノ特ニ注意ヲ拂ハ
 レタル所ニシテ兒童ノ品性ヲ陶冶シ美感ヲ養成スルニハ極
 メテ適切ナルモノト信ス
 注意 一音符ニ二文字ノ配當セルハ其音長ヲ二等分スヘキモノトス

定國 小學讀本唱歌集 卷の下目次 (尋常の部)



燈臺
 新聞紙
 軍人
 わが帝國

明治
 37 6 28
 内交

◎ 春の遊

(讀本卷七)

二

(一) お庭にはに、桃ががさいてゐる。

お庭ののさきで、

女の子どもがまりつきあそび

まりをつく音、ぼん、ぼん、ぼん。

かずをよむこゑ、ひーふーみー。

(二) 小山に、櫻ががさいてゐる。

小山のの上で、

男の子どもがへいたいあそび。

らっばふく音、とて、ちて、たー。

三

春の遊

=調四拍子 ♩=132



1. 2 3 2 1 | 3. 4 5 5 | 6. 6 1 6 | 5- 0 |

一 オニハニー モモガー ナイテキ ル
 二 こやまにー さくらが さいてゐる
 三 ノハラニー スミレガ サイテキ ル



3. 3 2 1 2 | 3 5 6- | 1 1 1 1 5 5 5 5 | 6 6 5 5 3 3 3 |

オニハノー サキ デ フンナノコドモガ マリツキアソビ
 こやまのー う へ で をとこのこどもが へいたいそび
 ノハラノー ナカ デ ミンナガイツヨニ オニゴトアソビ

五



5 5 3 3 2 2 1 2 | 3. 3 5. 5 1 0 | 5 5. 6 1 1 6 5 | 3 2 1 0 |

マーリアックオト ポンポンポン カズラヨムコエ レフミ
 ら一つばふくおと とてちてたー かけるごーれい いしにーさん
 オーニヲキメルヨ ジャンケンポン セナカタタクヨ トントン

(三) 野原に、すみれがさいてゐる。

かけるごーれい、「一二三」

野原の中で、

みんなが、いっしょに、おにごとあそび。

おにをきめるよ、じゃんけん、ぼん。

せなかたたたくよ。とんとんとん。

日本の景色

〜調四拍子 ♩=120

ニホンノ クニハ ウーミノ クーニ オホシマ コジマ
 二にほんの くには やーまの くーに おほたき をがは

ソノ ナカ ラ カーヨフ シラホノ オモシロ ヤ
 たにあひ に おーちて ながれて おもしろ や

ミー サキ イリ ウミ ソノ フチ ニ
 おーてら おや しろ きの あひ に

ナ ラ ブ マ ツ ノ キ オモシロ ヤ
 み え て か く れ て おもしろ や

◎ 日本の景色

(讀本卷七)

(一) 日本の國は海の國。

大島、小島、その中を

通ふ白帆のおもしろや。

岬、入海、そのふちに、

ならぶ松の木おもしろや。

(二) 日本の國は山の國。

大瀧、小川、谷あひに、

おちて、流れて、おもしろや。

お寺、お社、木のあひに

見えて、かくれて、おもしろや。

◁ 停車場 ▷

♩ 調四拍子 ♩=132

1. 1 1 5 1 2 | 3-5 0 | 3 3 3 4 3 2 | 1-6 0 | 5. 5 5. 1 2 3 |

一 リョコーナスル ヒト ミカクリスル ヒト イマツクヒト
二 えきのなよぶ こゑ とびらのあく おと おりくるひと

5-3 0 | 5. 5 5 3 2 1 | 2-1 0 | 2. 2 2 3 2 1 | 2-3 0 |

ナ バ ムカヘニテタ ヒト ベントール ノハ
び と のりこむひと びと あひたるよる こび

5. 5 5 3 2 1 | 6-5 0 | 6. 6 6 1 2 1 | 2-3 0 | 2. 2 2 3 5 3 |

ハツヒチキタ ヒト テニモツカツ イテ ハコブハアガ
わかるかなしみ あいさつま さま ことばもみじ

九

2-1 0 | 5. 5 5 3 3 3 3 | 2. 2 1 6 2 0 | 1 1 1 2 3 3 5 5 | 3 3 2 2 1 0 ||

ホー ガランガラント ベルガナル ケムリチハメテー キレヤガクル
かく やがてきしやさり ひとりりて あごええきふが そー じする

◎ 停車場

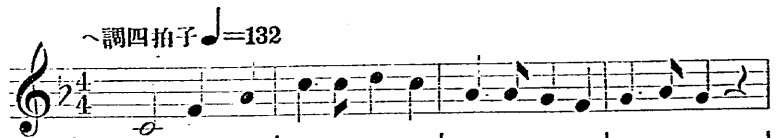
(讀本卷七)

(一) 旅行をする人。みおくりする人。
今、着く人をばむかへに、出た人。
べんと一賣るのは、運ぶは赤帽を着た人。
手荷物かついで、運ぶは赤帽。
がらんがらんと、べるがなる。
煙をはいて、汽車が来る。

(二) 驛の名呼ぶ聲。とびらのあく音。
おりくる人。乗りこむ人。
あひたる喜。わかるかなしみ。
あいさつまさま、ことばも短く、
やがて、汽車さり、人ちりて、
あとを驛夫が掃除する。

燈 臺

調四拍子 ♩=132



5- 1 3 | 5. 5 6 5 | 3. 3 2 1 | 2. 3 2 0 |

ソ ラ ニ ツ キ ナ ク ホ シ サ ヘ ナ ク テ
 き し に み さ き に と ー だ い わ り て
 キ メ シ コ ー ロ ラ ス ス ミ テ ユ ケ バ



5- 3 2 | 1. 2 3 3 | 1. 1 6 5 | 3. 2 1 0 |

イ ッ ス ン サ キ ス ラ ミ エ ザ ル ヨ ル ニ
 と ほ く お き ま で ひ か り て わ れ ば
 ア サ セ ア ン シ ー カ ズ アル ウ ミ モ



5- 5 5 | 6. 6 5 3 | 6. 6 5 3 | 2. 1 2 0 |

オ キ ノ キ セ ン ヤ グ ン カ ン ナ ド ハ
 お き の き せ ン や ぐ ン か ん な ど は
 サ ハ ル コ ト ナ ク ワ タ ル ラ ウ ベ シ



3- 2 1 | 6. 6 5 5 | 5. 5 3 1 | 3. 2 1 0 |

ナ ニ ヲ メ ア テ ニ コ ー ロ ヲ キ ム ル
 そ れ を め わ て に こ ー ろ を き む る
 ア ト ー ダ ー イ ノ タ フ ト キ コ ト ヨ

◎ 燈 臺

(讀本卷七)

(一)

空に、月なく、星さへなくて、
 一寸さきすら見えざる夜に、
 沖の汽船や軍艦などは、
 たにをめあてに、航路をきむる。

(二)

岸に、岬に、燈臺ありて、
 遠く、沖まで、光りてあれば、
 沖の汽船や、軍艦などは、
 それをめあてに、航路をきむる。

(三)

浅瀬暗礁、航路を進みて行けば、
 さはることなく、渡るをうべし。
 あゝ燈臺の貴きことよ。

新聞紙

調四拍子 ♩=120



1 | 1. 3 5. 5 | i- 5 5 | 6. 5 3 1 | 3- 2 |
 ト カ イ ノ コ ト モ キ ナ カ ノ コ ト モ
 一 二 三 三
 か じ が お ほ い ぞ ぬ す と が あ る ぞ
 ヒ ト ニ シ ラ レ ン ゼ ン ジ モ ウ ツ シ



1 | 1. 3 5. 5 | i- 5 5 | 6. 5 3 1 2 3 | 1- 0 |
 セ ン リ ア チ ラ ノ タ コ ク ノ コ ト モ
 こ は い け ー き が は や っ て き た と
 カ ゲ ニ カ ク レ タ ア ク ジ モ ウ ツ ス



5 | 5. 4 3 3 | 6- 5 5 | i- 7 6 | 5- 0 |
 ヒ ト メ デ ワ カ ル シ ン ブ ン シ
 き を つ け さ せ る し ン ぶ ん し
 カ ガ ミ ノ ヨ ナ シ ン ブ ン シ



5 | i- 7 6 | 5- 3 5 | 5. 3 4 2 | 1- 0 ||
 ア チ ヨ ホ ナ シ ン ブ ン シ
 あ し ン せ つ な し ン ぶ ん し
 ア ア キ ラ カ ナ シ ン ブ ン シ

◎ 新聞紙

(讀本卷八)

(一) 都會の事も、田舎の事も、千里あちらの他國の事も、一目で、わかる新聞紙。あー、ちよーほーな新聞紙。

(二) 「火事が多いぞ。ぬすとがあるぞ。こはい病氣がはやつて來た。」と、氣をつけさせる新聞紙。あー、しんせつな新聞紙。

(三) 人に知られん善事もうつし、かけに、かくれた悪事もうつす。あー、鏡のよーな新聞紙。あー、明かな新聞紙。

軍 人

♩ 調四拍子 ♩=120

5 5 1 1 | 3. 2 2 0 | 5 5 3 1 | 3. 2 2 0 | 1 1 6 6 | 5. 6 5 0 |

軍刀モノ ゴトク 弾丸アラレニ ニタリ 陸戦イマ ナカバ
大砲ニヒビキ 水雷ツミテ とどろく 海戦いま なかば

5 5 3 3 | 6 6 5 0 | 2 2 2 2 | 3 3 5 5 | 6 6 1 1 | 2 2 5 5 |

ヤマロキ カハエフ 日本軍人 イノチヲシマス 忠キココロ イノチヲカシ
カセヨリ なみわぐ 日本軍人 いのちをなした 忠のこころ いはよりかたし

一五

3 3 2 2 | 1 1 2 3 | 5. 6 5 3 | 2. 3 2 1 | 2 2 3 3 | 5-1 0 ||

列ヲモクダラズ ヤマカハフミヨク ススムヨ ススムヨ 敵陣メガケテ
へ さきそへて しらなみかたてて すすむよ すすむよ 敵艦めがけて

◎ 軍 人

(一)
軍刀霜のごとく、
陸戦今なかば。山動き、川ふるふ。

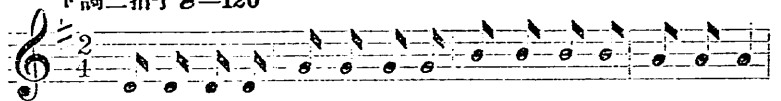
日本軍人命をしまし、
忠義の心、いはよりかたし。
列をもくづさず、山川ふみこえ、
進むよ、進むよ、敵陣めがけて。

(二)
大砲、空に、ひびき、水雷、海に、とどろく。
海戦、今、なかば、風おこり、波さわぐ。

日本軍人命をしまし、
忠義の心、いはよりかたし。
へさきそへて、白波けたてて、
進むよ、進むよ、敵艦めがけて。

わが帝國

ト調二拍子 ♩=120



5 5 5 5 | 1 1 1 1 | 3 3 3 3 | 2 2 2 |
 セカイニ マタ ナキ ワガクニ ガラヨ
 ノハラヲ ナガルルカーハノゴトク



5 5 5 5 | 3 3 3 | 2 2 2 2 | 1 1 1 |
 タメシモ アラスメイジノミヨヨ
 ススミテ ヤマスメイジノミヨヨ



5. 5 | 5. 5 | 6. 6 | 5. 5 | 3 3 | 2 1 | 3. 2 | 2 0 |
 クモニソビユルヤマノゴトクニ
 アーワガクニハヨキクニガラヨ



5 5 | 5 5 | 6. 6 | 5 5 | 5 5 | 3 1 | 3. 2 | 1. 0 |
 ウゴカズカハラスワガクニガラヨ
 メイジノミヨハサカユルミヨヨ

◎わが帝國

(讀本卷八)

世界に、またなき、わが國柄よ。
 ためしもあらぬ、明治の御代よ。
 雲間に、そびゆる 山のごとくに、
 動かず、かはらぬ、わが國柄よ
 野原を流るる 川のごとくに、
 進みて、やまぬ 明治の御代よ。
 あゝ。わが國は よき國柄よ。
 明治の御代は さかゆる御代よ。

明治三十七年五月廿貳日印刷
 明治三十七年五月廿六日發行

著者權所有

作曲者

全

全

發行者

印刷者

尋常小學讀本唱歌集 第四册
 定價 七十九錢
 卷の上 七十九錢
 卷の中 七十九錢
 卷の下 七十九錢

内田 象太郎
東京市本郷區洪島四丁目一番地

楠美 恩三郎
東京市本郷區彌生町三番地

岡野 貞一
東京市小石川區御茶町十八番地

元々 堂書房
東京市京橋區銀座四丁目五番地

近藤 廣太郎
東京市日本橋區金吹町五番地

元々 堂書房
東京市京橋區銀座四丁目五番地

晃山 堂書房

松村 三松堂

大坂吉岡 寶文館

發兌元

發賣所

東京市京橋區弓町
 關西大賣捌所

III